











**生物環境モニタリング調査**



5月 7日 水質調査	7月19日 第二回合同調査
5月21日 第一回合同調査	8月23日 臨時調査
6月19日 臨時調査	9月20日 第三回合同調査

**舞根湾研究の概要**

**がれき探査**  
ソナーによるマッピングと撤去


**水質**  
水温、濁度、クロロフィル、溶存酸素、リン、窒素、溶存鉄、重金属、油、有機溶剤、農薬

**底質**  
バクテリア、重金属、油、有機溶剤、農薬、ダイオキシン

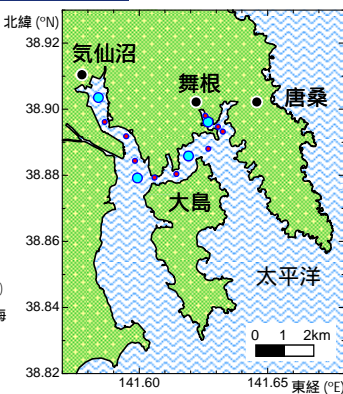
**生物**  
バクテリア、植物プランクトン、動物プランクトン、仔稚魚、成魚

**合同調査**  
5月、7月、9月、11月、1月

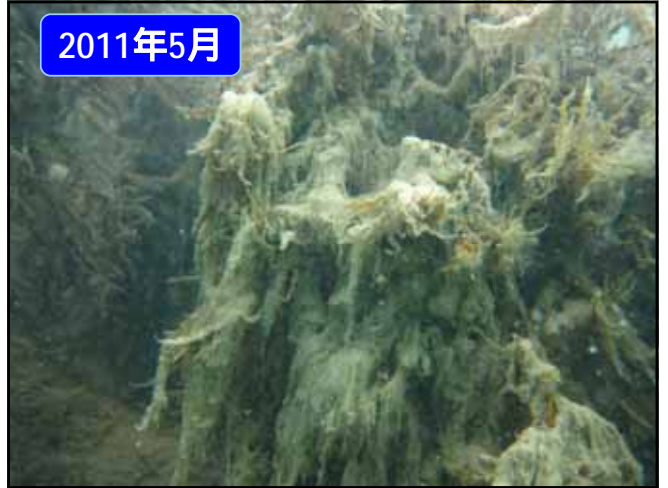
**臨時調査**  
4月、6月、8月、10月、12月



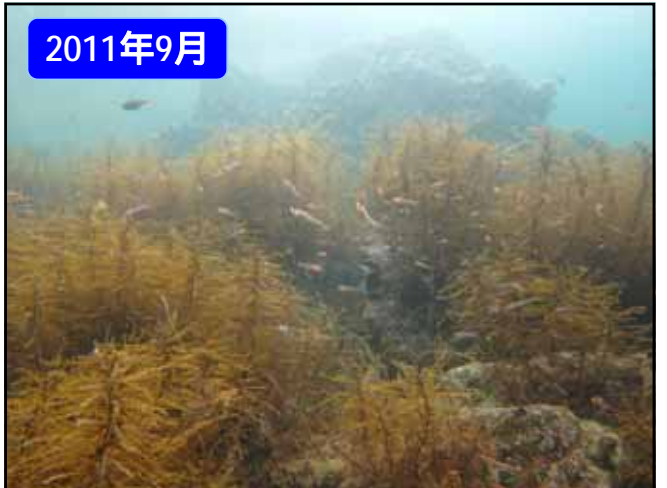
**舞根湾研究チームのメンバー**

田中 克 (財)国際高等研究所	
山田雄一郎 (北里大学水産学部)	
西谷 豪 (東北大学農学研究科)	
山本光夫 (東京大学教養学部)	
横山勝英 (首都大学東京都市環境学部)	
益田玲爾 (京都大学フィールド研)	
中山耕至 (京都大学フィールド研)	
吉永郁生 (京都大学農学研究科)	
張野宏也 (神戸女学院大学人間科学部)	
劉 旦 (有明工業高等専門学校)	
藤波祐一郎 ((独)水産総合研究センター)	
海野義明 (NPO法人オーシャンファミリー-海洋自然体験センター)	
畠山 信 (NPO法人森は海の恋人)	

**地域の漁民、大学、研究所、市民団体**













地盤沈下により湿地が形成された

昭和初期の地形に戻った

 This block contains a text box with two lines of Japanese text and a photograph. The top text reads "地盤沈下により湿地が形成された" (Wetland formed due to land subsidence). The bottom text reads "昭和初期の地形に戻った" (Returned to the terrain of the early Showa period). The photograph in the center shows a muddy, flat area, likely a wetland, with a utility pole and some debris in the background.



**地域づくり(仮称:ボレロプロジェクト)**

- 震災後の自然を活かした環境づくり
- 研究機関との連携で自然環境調査とモニタリングを実施
- 子どもの居場所づくり
- 海的环境教育拠点づくり
- 地域の雇用づくり
- 地酒(ウォッカ)
- オイスターバー
- 燻製づくり
- 集団移転における住居づくり